

【参考資料】 津久見市内小学校の複式学級設置予定について

堅徳小学校 今後の児童数予想

令和8年2月17日現在

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
R6	人数	8	5	10	6	13	7	49
	学級数	①	①	①	①	①	①	⑥
R7 (現在)	人数	5	7	5	10	6	13	46
	学級数	①	①		①	①	①	⑤
R8	人数	11	5	7	5	10	6	44
	学級数	①	①		①	①	①	⑤
R9	人数	9	11	5	7	5	10	47
	学級数	①	①	①		①	①	⑤
R10	人数	6	9	11	5	7	5	43
	学級数	①	①	①	①		①	⑤
R11	人数	5	6	9	11	5	7	43
	学級数	①	①	①	①	①		⑤

千怒小学校 今後の児童数予想

令和7年11月1日現在

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
R7	11	16	15	21	19	20	102
R8	11	11	16	15	21	19	93
R9	11	11	11	16	15	21	85
R10	8	11	11	11	16	15	72
R11	6	8	11	11	11	16	63
R12	8	6	8	11	11	11	55
		複式学級					
R13	7	8	6	8	11	11	51
		複式学級					

小学校の在り方を検討する保護者アンケートの結果について

1. 目的

超低出生時代を迎えた津久見市の小学校の在り方について検討するとともに、魅力ある小学校づくりや、質の高い小学校教育を提供できる環境について検討するため、現在小学校に通う児童の保護者に対して調査を実施し、今後の検討委員会の参考にすることを目的としている。

2. 調査の概要

調査名：「小学校の在り方検討に関する保護者の意向調査」

調査方法：WEBアンケート(Logoフォームを利用)

調査期間：2025年11月21日(金)～2025年12月12日(金)

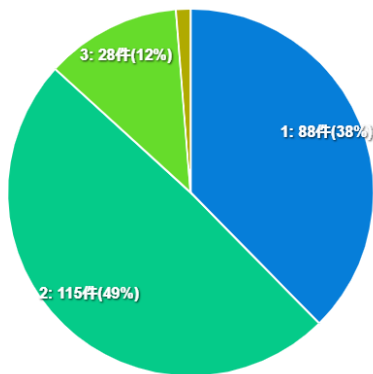
対象者：市内小学校に通う児童がいる家庭 全360世帯(令和7年11月21日時点)

3. 回収状況

回答 234件(市内小学校の世帯数360世帯) 全体回収率 65.0%

4. 結果の詳細について

① 小学校教育の満足度について



満足・やや満足 理由

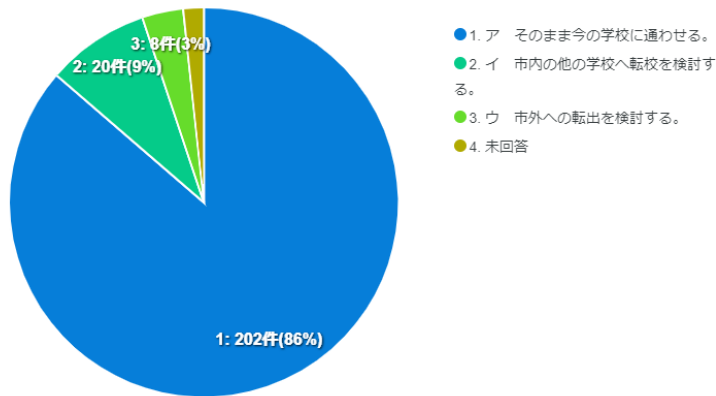
学校が十分な学力をつけてくれているから	54%
先生たちが、安全な生活に気を配ってくれるから	52%
先生たちが親身に相談にのってくれるから	45%

やや不満・不満 理由

学校が十分な学力をつけてくれないから	47%
学校では、楽しく生活できていないから	26%
その他	26%
(学校行事・先生・支援学級のことなど)	

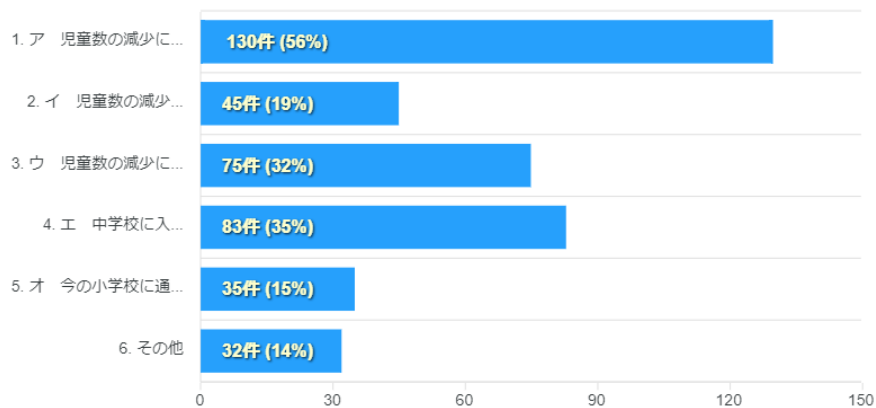
小学校教育の満足度については、肯定的な意見が87%となっており、小学校教育に対して、一定の評価をされていることがわかる。理由については、「学校が十分な学力をつけてくれているから」や「先生たちが、安全な生活に気を配ってくれるから」や「先生たちが親身に相談にのってくれるから」が半数近くを占めており、小学校での教科担任制の取組が成果に表れることや相談体制がきちんと機能できていることなど、保護者に認識されていると考えられる。ただ否定的な意見も少数だが上がっており、十分な学力がついていないや楽しく学校生活を送れていないなどの理由があがっている。

②. 現在または将来でお子さんの学級が複式学級になったときにどう考えますか？

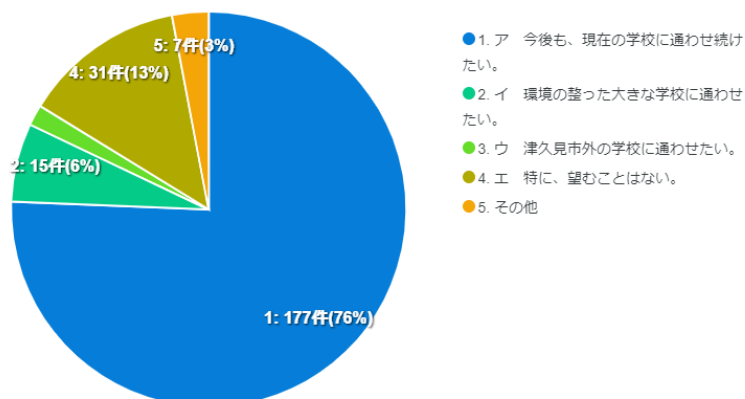


③. 今後のことで不安に思うことはありませんか。(複数回答可)

- 1 ア 児童数の減少により、複式学級編制になり、十分な学力や体力をつけられないのではないか。
- 2 イ 児童数の減少により、仲のよい友だちができにくいのではないか。
- 3 ウ 児童数の減少により、友だちと切磋琢磨し、お互いを伸ばし合う活動ができないのではないか。
- 4 エ 中学校に入学した時、大勢の同級生との生活に慣れないのではないか。
- 5 オ 今の小学校に通わせ続けることが、わが子のためになるのだろうか。
- 6 その他(不安に思うことはない。26件)



④. 今後のことについて、ご希望をお聞かせください。



質問2で複式学級になった場合、今後の子どもの学校についての考えについては、90%近くの保護者が「そのまま今の学校に通う」と回答している。一方で、市内の別の学校に転校や市外への転出を検討すると回答している保護者が12%いることがわかる。また質問4の今後の希望の回答をみても、環境の整った大きな学校に通わせたいや市外の学校に通わせたいと回答した方が8%いる。この2つの質問をまとめると、だいたい1割の保護者がよりよい環境や規模の大きな学校などの教育環境を求めて移動を考えている一方で、9割は現在の学校に通いたい・または通わざるを得ないと考えていることがわかる。

ただ、質問3の今後のことで不安なことをみると、50%を超える保護者が「複式学級編制になり、十分な学力や体力をつけられないのではないか」を選択しており、複式学級での学力や体力に課題を感じており、約30%の保護者が「児童数の減少により、友だちと切磋琢磨し、お互いを伸ばし合う活動ができないのではないか」や「中学校に入学した時、大勢の同級生との生活に慣れないのではないか」を選択し、子どもの小学校で友人関係やその後の中学校での友達づくりや学校生活に課題を感じていることがわかる。

堅徳小学校の様子について

(小学校の在り方検討委員会資料)

1 学級編制 (令和8年：2月現在)

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
児童数	5	7	5	10	6	13	46
実学級数	①	①		①	①	①	⑤

大分県の学級編制特例により、

- ①小学校1年生を含む複式学級は解消する。
- ②その他の複式学級は、14名編制とする。

から、上記の編成になる。

○令和7年度の堅徳小学校は、授業を担う常勤教諭は、6名。児童生徒支援加配がつかなければ、定数は5名となる。市単独複式解消非常勤講師がつくことで、主要教科での単式の授業が可能となる。

2 今後の児童数予測

堅徳小学校 今後の児童数予想

令和8年2月17日現在

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
R6	人数	8	5	10	6	13	7	49
	学級数	①	①	①	①	①	①	⑥
R7 (現在)	人数	5	7	5	10	6	13	46
	学級数	①	①		①	①	①	⑤
R8	人数	11	5	7	5	10	6	44
	学級数	①	①		①	①	①	⑤
R9	人数	9	11	5	7	5	10	47
	学級数	①	①	①		①	①	⑤
R10	人数	6	9	11	5	7	5	43
	学級数	①	①	①	①		①	⑤
R11	人数	5	6	9	11	5	7	43
	学級数	①	①	①	①	①		⑤

※上記のように、今後6年は、複式学級は1学級、全校児童は四十数人で推移する。

3 日課表の工夫や担任外の授業協力について

2月第一週の日課表より

2年日課表					3年日課表						
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1	国語	国語	国語	国語	国語	1	国語	国語	国語	国語	国語
2	算数	体育	図工	算数	体育	2	算数	社会	音楽	算数	社会
3	道徳	音楽	算数	国語	算数	3	図書	算数	算数	体育	算数
4	図書	書写	生活	体育	音楽	4	音楽	書写	理科	外国語	体育
5	生活	算数		国語	生活	5	総合	体育	道徳	理科	音楽
6						6		理科			理科
		2・3年担任									
		1・2年合同									
		3・4年合同									
		複式解消講師									
		専科教員									
		児童生徒支援加配									

- ①国語・算数については、2・3年担任と複式解消非常勤講師で授業を行い、単式化している。
- ②2年生の体育・図工・生活・音楽では、1年生との合同授業を組むことで、3年生の理科・社会の単式化を行っている。
- ③3年生の体育は、3・4年の合同授業を行い、2年生の道徳の時間などの確保をしている。
- ④専科教員（外国語・体育）にも協力頂き、単式授業の確保をしている。
【専科教員は、市内4校の小学校を兼務している】
- ⑤児童生徒支援加配にも、図書の授業、時には主要教科の指導に当たってもらいながら、単式授業の時間を確保している。

4 市単独複式解消非常勤講師の活用について

本年1月より非常勤講師が決まり、現在2年生の国語8時間、3年生の算数5時間の計13時間の授業を行っている。また、適宜2年や3年の授業に入り、支援を行っている。